

- 問1 東北地方の太平洋側において、夏に「やませ」が長期間吹き続けた際に発生する、農業への具体的な影響と背景の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 和歌山公立入試 類似)
- 日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。
 - 太平洋側に乾燥した熱風をもたらす。干ばつによって農作物を枯れさせる。
 - 海からの暖かい湿った空気をもたらす。稲の成長を促進させて豊作をもたらす。
 - 強い風によって稲が倒伏し、収穫直前の農作物に物理的な被害を与える。
- 問2 東北地方を東西に分断するようにそびえる奥羽山脈は、この地域の冬の気候に大きな影響を与えています。その地形的特徴と気候の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらす。太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。
 - 太平洋側から吹く湿った季節風が奥羽山脈によって遮断されるため、太平洋側にのみ大雪が降り、日本海側は常に乾燥する。
 - 奥羽山脈が非常に低いため季節風がそのまま通過し、東北地方の全域で日本海側から太平洋側まで均一に雪が降り積もる。
 - 奥羽山脈が冬の冷たい季節風を完全に防ぐ壁となるため、山脈より南側の地域では雪が全く降らなくなる。
- 問3 三内丸山遺跡周辺の土地利用の変化について、1980年代後半と2020年代の状況を比較した記述として、地理的・歴史的な背景から考察して最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- 遺跡の西側に新幹線などの高速鉄道網が整備されたことで、広域的な交通の利便性が向上した。
 - 遺跡の全域が工業地域として再開発され、かつての集落跡はすべてコンクリートで覆われた。
 - 周辺の農地がすべて宅地造成され、遺跡は大規模な新興住宅団地の中に埋没した。
 - 遺跡の西側を流れる河川を大規模に埋め立て、国際的な貿易港が建設された。
- 問4 三陸海岸で見られる、山地が沈水したり海面が上昇したりすることで谷に海水が入り込み、複雑な入り江となった「リアス海岸」の産業的な特徴について述べたものとして、最も適切な説明を選んでください。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
- 湾内は外海の影響を受けにくく波が穏やかなため、カキやワカメなどの養殖業や天然の良港としての利用が盛んである。
 - 海岸線が直線的で水深が浅いため、大規模な干拓事業が行われ、広大な水田での稲作が中心となっている。
 - 遠浅の砂浜が広がっているため、大規模な工業用地として埋め立てられ、石油化学コンビナートが立ち並んでいる。
 - 隆起によって形成された平坦な海岸段丘が続くため、その地形を利用してキャベツなどの高原野菜の栽培が行われている。
- 問5 東北地方の日本海側に位置する都市の気候統計に見られる特徴として、正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。
 - 季節風が奥羽山脈によって遮られるため、1月の降水量は100mm未満となり、冬は乾燥して晴天の日が多くなる。
 - 冷害の原因となる「やませ」の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならないが、8月の平均気温が24度未満になることが多い。
 - 暖流である日本海海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は5度を上回り、雪ではなく雨が多く降る。
- 問6 東北地方の岩手県から宮城県にかけての太平洋沿岸には、山地が沈降してできた複雑に入り組んだ海岸線が続いています。このような地形を利用してカキやワカメなどの養殖が盛んに行われていますが、この地形の名称として正しいものはどれか。 (2019年 広島公立入試 類似)
- リアス海岸
 - 扇状地
 - 大陸棚
 - 三角州
- 問7 東北地方の太平洋側では、6月から8月にかけてオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。この風の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
- やませ
 - からっ風
 - 季節風
 - フェーン現象
- 問8 東北地方などの農業において、安価な輸入農産物との競争が激しくなる中、国産品の価値を高めて差別化を図るための取り組みが重視されています。このような戦略の内容として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- 農薬の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。
 - 大規模な機械化を徹底的に推進し、輸入農産物と同等の低価格を実現することのみに専念する。
 - 海外から安価な種苗を大量に導入し、栽培にかかる初期コストを極限まで抑えて生産量を増やす。
 - 輸送コストを削減するために、都市部の消費地から離れた地域での農業生産をすべて停止する。
- 問9 日本の諸地域の交通網について述べた次の説明のうち、岩手県の状況を正しく説明しているものを選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- 東北新幹線の沿線でも駅数が多く、県庁所在地の盛岡市は秋田方面への路線の分岐点となっている。
 - 東北地方でも人口が多いため、県庁所在地の仙台市を中心に放射状の新幹線網が整備されている。
 - 北海道新幹線の始発点となる県であり、県庁所在地の青森市はすべての新幹線が停車する最大の拠点である。
 - 山形新幹線と東北新幹線が交差する位置にあり、県庁所在地の山形市は奥羽山脈を越える交通の拠点である。
- 問10 ある県の産業統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約90人と低く、農業産出額（約1,732億円）のうち米の占める割合が約61%と極めて高いというデータがあります。この県で生産されている「あきたこまち」のような、産地や品質を保証して販売される米の名称を何といますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- 銘柄米
 - 伝統野菜
 - 近郊農業
 - 抑制栽培
- 問11 地形図を用いて特定の地域の変容を調査する際、1998年には工場として利用されていた場所が、2025年には別の新しい建物に建て替えられている状況から読み取れる事柄として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 群馬公立入試 類似)
- 産業構造の変化や都市機能の更新に伴い、工場の跡地が別の用途へと転換された。
 - 地域の歴史的な景観を後世に伝えるため、工場の建物が当時の姿のまま永久保存された。
 - 食料自給率を向上させるため、工場の跡地がすべて大規模な水田や畑として整備された。
 - 大規模な災害に備えるため、工場跡地のすべての建物が取り壊され、一切の建築が禁止された。
- 問12 東北地方の各県の統計を示した資料において、人口が最も多く、かつ農業産出額の中で米の産出額が果実の産出額を大きく上回っている県はどこですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- 宮城県
 - 福島県
 - 山形県
 - 秋田県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。	やませは低温で湿った風であるため、厚い雲や霧を伴います。これにより、稲の成長に必要な日照時間と気温が不足し、開花や結実が不十分になる「冷害」を引き起こします。1993年にはこの影響で記録的な米不足となり、海外から緊急に米を輸入する事態となりました。
問2	答え 1 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらし、太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。	東北地方の中央に位置する奥羽山脈は、冬に日本海から吹く湿った北西の季節風を遮る壁の役割を果たします。風が山脈を越える際に上昇して雪を降らせるため、日本海側は世界有数の豪雪地帯となります。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は水分を失って乾燥しているため、太平洋側では冬に晴天が多くなるという気候の地域差が生じます。
問3	答え 1 遺跡の西側に新幹線などの高速鉄道網が整備されたことで、広域的な交通の利便性が向上した。	青森市の三内丸山遺跡周辺は、1980年代後半から2020年代にかけて、東北新幹線の延伸という大きなインフラ整備の影響を受けました。地形図の変化をたどると、遺跡の西側に位置していた未開発の平地に新しい鉄道の線路記号が描かれるようになっていきます。これは、新幹線の開通によって青森県と他の都県を結ぶ移動時間が短縮され、観光客の増加や地域経済の活性化に寄与する交通結節点としての役割が強化されたことを示しています。
問4	答え 1 湾内は外海の影響を受けにくく波が穏やかなため、カキやワカメなどの養殖業や天然の良港としての利用が盛んである。	リアス海岸は、V字谷などの山地が沈水してできた地形であり、入り江が深く入り組んでいるのが特徴です。そのため、湾の奥は外海の荒波から守られて非常に穏やかであり、カキやホタテ、ワカメといった養殖業に適しています。また、水深が深く波が静かな場所は、船が停泊しやすい天然の良港となり、漁業基地としても発展してきました。一方で、平地が少ないため大規模な工業地帯や農地の形成には向きません。
問5	答え 1 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。	東北地方の日本海側の気候は、冬の季節風によってもたらされる雪の影響で、冬（1月）の降水量が他の地域に比べて多くなるのが大きな特徴です。特に山地や北部では1月の平均気温が氷点下となり、積雪量も多くなります。「1月の降水量が100mm未満」や「8月の平均気温が24度未満（やませの影響）」といった選択肢は、東北地方の太平洋側の気候的特徴と混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 1 リアス海岸	山地が沈降したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込んで形成された複雑な海岸線をリアス海岸と呼びます。東北地方の三陸海岸南部はその代表的な例として知られており、その特有の形状が産業に利用されています。
問7	答え 1 やませ	オホーツク海高気圧の影響で、初夏から夏にかけて東北地方の太平洋側に吹き込む冷たく湿った北東風を「やませ」と呼びます。この風が長引くと、日照不足や気温の低下を招き、農作物の生育に悪影響を及ぼします。群馬県などで冬に吹く乾燥した「からっ風」とは、吹く時期や性質が異なります。
問8	答え 1 農薬の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。	日本の農家は、価格面で有利な輸入農産物に対抗するため、品質や安全面での「付加価値」を高める戦略をとっています。具体的には、農薬の使用を制限して「安全性の向上」を図ったり、誰がどのように作ったかという「生産者情報」を明示したりすることで、消費者から「安心・安全な国産品」としての信頼を得る、いわゆる農産物の差別化が進められています。
問9	答え 1 東北新幹線の沿線で最も駅数が多く、県庁所在地の盛岡市は秋田方面への路線の分岐点となっている。	岩手県は広大な面積を持つことから、東北新幹線の駅数が他の都県よりも多く設定されています。特に県庁所在地の盛岡駅では、東京方面から連結して走ってきた「はやぶさ（東北新幹線）」と「こまち（秋田新幹線）」の切り離し作業が行われるなど、東北地方北部の鉄道交通における結節点として重要な機能を持っています。
問10	答え 1 銘柄米	秋田県に代表される東北地方の日本海側では、冬の降雪がもたらす豊かな水資源を活かした稲作が非常に盛んです。消費者のニーズに応えるため、県名などを冠した「あきたこまち」のような銘柄米（ブランド米）の生産に力を入れ、農業産出額の過半数を米が占めるという、単作地帯としての特徴を持っています。
問11	答え 1 産業構造の変化や都市機能の更新に伴い、工場の跡地が別の用途へと転換された。	時代が異なる地形図を比較することで、特定の土地における役割の変化を捉えることができます。例えば、仙台市の港湾付近のように、かつての工場跡地に新たな建築物が建てられている場合、それは産業の移転や老朽化、あるいはより効率的な土地の高度利用を目指す都市再開発が行われたことを示しています。このように、地形図から読み取れる情報の変化は、その地域の社会経済的な動向を反映しています。
問12	答え 1 宮城県	東北地方において政令指定都市である仙台市を擁する宮城県は、地域内で最大の人口規模を持っています。農業面では仙台平野などの平野部を中心に稲作が広く行われているため、農業産出額に占める米の割合が非常に高く、福島県や山形県と比較して果実の割合が低いことが統計上の大きな特徴です。